【授業科目】医療安全管理学　Medical Safety Management

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
森本 誠	３年次 前　期	必 修	1	15	講 義	あり	巻末 掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／医療の現場で実際に起こっている医療事故の現状や医療安全管理体制の動向について事例を参考に講義する。事故事例の原因・リスク因子の分析を通して、医療事故防止のための取り組みについて講義する。検査について説明できる検査技師が求められることから、コミュニケーションのスキルアップの必要性について教授する。また、臨床検査技師の責任および業務の範囲等を理解し、感染等に関するリスク管理および医療安全と患者接遇に配慮して適切に検体採取ができるための知識および実践方法等について講義する。 課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、全体の総評コメントを掲示にて公開する。
実務経験に関する 授業内容	リスクマネージャーとして医療安全管理について経験を持つ教員が、医療事故防止のための取り組みや検体採取について経験を交えて講義を行う。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①　医療事故発生の要因分析とその対策について説明ができる。 ②　検体採取に伴う接遇ができる。 ③　検体採取に伴う危険因子がわかり、インシデント・アクシデント発生時に適切な対応ができる。
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	第1～8回事前学習：指定の教科書を事前に読み、解らない用語について調べておくこと（各60分）。 第1～8回事後学習：各回での学びを復習することで確認し、解らなかったことは調べ教員に質問する（各60分）。 ＊その他に、講義で学んだことを振り返るための課題を課すことがある（各120分）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1 回　医療倫理：技師と患者との関わり、コミュニケーションスキル 医療倫理：技師による検査説明、チーム医療への技師の関わり 第 2 回　医療安全：インシデント・アクシデント、医療事故防止対策 第 3 回　医療安全：感染対策 第 4 回　法的知識と責任範囲：医療事故と損害保険 第 5 回　検体採取：採血法、採血による医療過誤 第 6 回　検体採取：皮膚表在組織病変部 第 7 回　検体採取：鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、便の採取 第 8 回　まとめ 全て森本
評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 課題レポート（講義内小テスト）30%、定期試験70%
教科書	『最新臨床検査学講座 医療安全管理学』 医歯薬出版 参考書等：なし
学生へのメッセージ	医療事故防止についての取り組み方や、近年臨床検査技師の業務として追加された検体採取などの業務について学びます。予習をして臨んでください。